



アンケート結果を満足度や不満度で、次のようにＡからＥで表しました。

　満足度：「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の割合

　不満度：「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合

　　　Ａ：満足度９０％以上　　　　　　　　Ｂ：満足度８０％以上９０％未満

　　　Ｃ：満足度８０％未満かつ不満度２０％未満

　　　Ｄ：不満度２０％以上３０％未満　　　Ｅ：不満度３０％以上

【第２回学校評価の結果から】

生徒、保護者、教職員ともに満足度の平均が80％を超えていることから、全体としては１学期同様、２学期の教育活動も順調であったと考えています。ただ、第１回の評価の時と比べ、満足度が生徒で1.6%、保護者で0.7%低下し、逆に不満度が生徒で2.2%、保護者で1.8%増加してしまった点については、学校として重く受け止めています。特に、授業関係の数値が低下したことについては、年度の終わりに近づくほど各教科とも学習内容が難しくなることに起因するとも考えられますが、学力の向上は学校の最重要課題であるだけに、今後も授業の改善を図り、楽しくわかりやすい授業の実施に向け、職員一同、鋭意努力いたします。

　なお、生徒における設問５(思いやりや感謝の心の育成)や設問20(よりよい人間関係の構築)については数値が上がっており、心の面の育成については、学校の取り組みは成果があったものと考えています。